



2017 一般入学試験 受験ガイド



もっと日本を。もっと世界へ。



KOKUGAKUEN UNIV.

國學院大學

1 学部内併願制度

A日程学部学科特色型において、文学部と経済学部で実施！

- ・文学部は外国語文化学科と哲学科で併願可能
- ・経済学部は全3学科に併願可能

B日程において、文学部で実施！

- ・文学部の日本文学科と中国文学科で併願可能

2 併願割引制度（応援割）の拡充

V方式は、1学科(専攻)目は13,000円、2学科(専攻)目以降は8,000円に！

A日程は、1回目は35,000円、2回目以降は15,000円に！

V方式〔I期〕とA日程を同時出願した場合、V方式〔I期〕10,000円＋A日程25,000円
で出願可能に！

3 A日程は全国9会場で受験可能

A日程入試では、本学試験会場に加え、地方9会場（札幌・仙台・新潟・長野・静岡・
名古屋・大阪・広島・福岡）でも受験できます！

4 V方式(センター利用入試)は複数学科・専攻への併願が可能

平成29年度大学入試センター試験の成績を利用するV方式〔I期・II期〕では、個別
試験は実施せず、複数学科（法学部は3専攻）の併願が可能です。

またV方式〔II期〕では、法学部と経済学部で3教科型と2教科型の両方に併願する
ことも可能です。

5 外部英語検定試験の利用

B日程の文学部外国語文化学科と経済学部経済ネットワーク学科で外部英語検定
試験のスコアが利用可能になりました。

6 法学部特別選考入学試験の実施

法学部では、A日程・V方式〔I期〕の受験者を対象に、入学試験成績とエントリー
シート、調査書の総合評価により合否判定を行う「法学部特別選考入学試験」を実施
します。

出願期間・選考方法等の詳細は本学HPで確認してください。

【目 次】

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）	3
2. 入試日程・募集人員	5
3. 出願資格・出願資格を証明する書類	6
4. 出願手続	7
5. 入学検定料	9
6. スケジュール・教科・科目	
【1】V方式 [I期]（大学入試センター試験利用入試）	11
【2】V方式 [II期]（大学入試センター試験利用入試）	13
【3】A日程（全学部統一）	15
【4】B日程（後期）	17
7. 受験上の注意（A・B日程）	19
8. 試験会場所在地・案内図	20
9. 合格発表	23
10. 入学手続	24
11. 学費等納付金	25
入試Q&A	26

【注意】

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに、必ず入学課（03-5466-0141）に連絡してください。

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。詳細はWeb出願の登録画面にてご確認ください。

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

※アドミッション・ポリシーについては、本学HPでも閲覧できます。

文 学 部

【日本文学科】

日本文学科における教育は、日本文学・日本語学・伝承文学の三専攻を通して日本の文学・言語・文化を正しく理解したうえで、学問として継承してゆくことを目指して行われている。そのための教育目標は“古典作品が読める國學院生”であり、入学後に選択する専攻に関わらず、古典文学の読解力と古典文法の基礎知識とを身につけておく必要がある。したがって科目としては『国語総合』だけでなく、『古典』の履修が強く望まれる。

【中国文学科】

本学、文学部ならびに本学科が定める教育実施方針に基づき、以下のような学生を広く募集し、受け入れる。

- (1) 建学の精神を理解し、中国文学を中心に、関連する諸領域の学修を通して、広く社会に貢献できる知識・能力・徳性を身につけようとする意欲を有する学生
- (2) 中国文学に対する強い志向性とともな、多様な知的好奇心や関心を有する学生。
- (3) 本学科が定める教育課程の学修を十分に理解することのできる基礎的な学力を有する学生。

【外国語文化学科】

外国語文化学科の目的は、高い外国語能力を持ち、異文化の総合的理解と日本文化の「創造的発信」を行う人材を養成することである。この理念を実現するために、外国語コミュニケーションコースと外国文化コースを用意しており、外国語関連科目および外国文化に関する科目が多数かつ多様に履修できる。

本入試制度では、本学科で、十分に学修ができる程度の「外国語」の学力と適性を有する者を受け入れる。

大学入学までに、「英語」（『コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』など）、「国語」（『国語総合』・『現代文』など）、「地理歴史」（『世界史B』・『日本史B』・『地理B』など）の科目を履修し、また、その他の教科にも誠実に取り組むことが望ましい。

【史 学 科】

高校生活あるいは卒業後の生活の中で、特定分野の学修に興味・関心を持ち、大学での勉学・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を迎え入れ、活気ある創造的な学問の場を創ることを目指す。入学者に求められるのは、まず一般的な教養と専門的知識を学修するための基礎学力であり、高校での学習は、「古文」・「漢文」、「英語」、そして「日本史」・「世界史」・「地理」を十分に習得していることが前提となる。更には論理的思考力、自主的な学びの姿勢、自己表現力、コミュニケーション能力なども求められる。史学科で学ぶには、次の4分野の1つまたは複数について強い志望を持つことが必要である。①日本史学②外国史学③考古学④地域文化と景観。入学後の学修・研究においては、史資料を用いて歴史を分析することが基本となる。

【哲 学 科】

哲学科は、本学ならびに文学部が定める教育実施方針に基づき、以下のような学生を広く募集し、受け入れる。

- ①建学の精神を理解し、東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する学生。
- ②哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる学生。また、広く文献を渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる学生。
- ③本学科が定める教育課程の学修を十分に理解することのできる基礎的な学力を有する学生。とりわけ入学までの学びにおいては、現代文および英語等の科目を中心とした学習を通して、文献の読解力、論理構築力、思考の表現力等を身につけることが求められる。

神道文化学部

神道文化学部では、次のような資質・志向をもった学生を受け入れている。（1）神道と日本文化について強い興味と関心を持ち、その継承と創造的発展、世界に向けての発信に貢献する意欲と能力を有する学生。（2）日本社会と地域の伝統文化の維持・継承と、あらたな価値の創造に意欲と能力をもつ学生。（3）国内外における諸宗教文化に関心を持ち、日本の伝統文化を踏まえ、宗教を中核として形成されてきた諸外国の文化を理解し、日本と国際社会の発展に貢献する意欲と能力を有する学生。

一般入試を目指す志願者に関しては、高等学校などで習得する科目全般に関する十分な基礎学力が求められる。

本学部での学修においてもっとも大切なのは、あらゆる学修の基礎である日本語の読解力・文章表現力である。『国語総合』『現代文』の履修を通じて、長文を読み解く力、自分の考えを論理的に表現する力をしっかり身につけてもらいたい。

『古典』の履修によって、古文・漢文に親しんでおくことも、本学部での学修に役立つであろう。

また『日本史B』の履修によって、日本の歴史や思想、文化などについて基礎知識を身につけておくことも大切である。さらに『地理B』『世界史B』の履修を通じて、宗教文化に根ざす国内外の多様な問題に対する幅広い関心も育ててもらいたい。

『外国語』については、『コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』『英語表現Ⅰ・Ⅱ』の履修によって、英語による発信力を培うための基本的な読解力・会話力を習得しておくことが求められる。

法 学 部

法学部は、建学の精神を理解し、本学部の教育課程を通じて法的または政治的思考力を身につけることにより、価値観の多様化する現代社会において、寛容さと謙虚さを維持しつつ、対立する利益を調整し、もしくは問題を的確に解決する力をもって社会に貢献できると思われる学生、また、社会の構成員であることを自覚し、主体的にそこに参画する意欲と能力とを持つ学生を育成する。

教科型入学試験制度（V方式・A日程・B日程）は、法律学・政治学に強い関心を持って勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある学生を法学部に迎え入れることを目的とし、課される科目の試験を通じて1) 知識の体系的蓄積・利用能力および2) 論理的思考力を評価する。

なお、教科型入学試験制度においては、限られた科目に関する知識・能力しか問うことができないが、入学後の教育内容との関係で、高校で勉強する科目のうち、特に次の科目を学習してきてほしいと考えている。

まず、法律および政治の多くの専門科目に関する基礎的な知識や、日本の法律・政治の歴史や起源についての知識を得るために、「政治・経済」、「日本史」、「世界史」の学習は有用である。また、法制度・政治制度は環境や科学に関する問題と深く関わるため、「基礎的な理科」の学習により自然科学に関する基礎的な知識を予め理解しておくことが望ましい。

次に、「基礎的な数学」の学習は、情報を整理・分析する能力や、法解釈に必要なとされる論理的思考力を養うことにつながり、「国語」の学習は、さまざまな文献を読みこなすうえで必要な基礎的な読解力や、レポート・論文等を執筆する際に必要な文章構成力を養うことにつながる。さらに、日本のみならず広く国外へ視野を広げ、法制度・政治制度を客観的な視点で分析するために「英語」の学習は有用である。

経 済 学 部

経済学部は、日本語・外国語および情報リテラシー教育の充実、基礎から応用までの系統的カリキュラム、少人数演習教育を柱とする教育課程を通じて、企業をはじめとする国内外のあらゆる組織で活躍できる人材の育成を目指しており、教育の「現代化」「現場化」「情報化」の基本方針のもと、学生の興味・関心に即した学修ガイドとして8つのコースを設定している（経済学科「経済の歴史と理論」「日本の経済システムと政策」「グローバル経済」、経済ネットワーク学科「地球環境と開発」「地域づくりと福祉」「情報メディア」、経営学科「マネジメント」「会計情報」）。

こうした教育課程編成を理解しつつ、上記8コースの履修を的確に志望するにあたり、経済、経営の現状や歴史に関して明確な問題意識を有すること、および、卒業後の将来設計を有し、それを実現するために、在学中の主体的・自発的学修を系統的に計画し、継続的に努力する意欲・能力を有する者を受け入れる。

上記に関して、本学部における基礎的な学修のために「国語」、専門的な学修のために「政治・経済」「日本史」「世界史」「英語」、高度応用的な学修のために「数学」を履修しておくことが望ましい。

人間開発学部

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者になることに強い志を持つものを受け入れる。

初等教育学科では、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識の修得を目指して、「教育の専門家」を志すものに受験してもらいたい。

健康体育学科では、身体諸機能のあり方に関心を持ち、様々なライフステージにおける人間・健康開発に寄与する指導者を志すものに受験してもらいたい。

子ども支援学科では、幼児教育・保育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識の修得を目指して、「教育の専門家」を志すものに受験してもらいたい。

教師や指導者になるためには、幅広い分野に関心を持って学ぶ姿勢が必要である。そのための基本的な能力は言語力であり、入試科目では「国語」を必須としている。

さらに、一般入試すべての日程で、幅広く学習するという観点から、3教科受験を必須としている。

V方式〔I期・II期〕においても国語を必須としている。一方で、より広い知識と技能を修得するという観点から、選択科目としては大学入試センター試験で行われる多くの科目から選択できるようにしている。

2. 入試日程・募集人員

【入試日程】

入試制度	試験日	出願期間(消印有効)	合格発表日	入学手続期間(消印有効)	
				第1次	第2次(最終)
V方式[I期] (大学入試センター試験利用入試)	1/14(土) 1/15(日)	1/4(水)~1/13(金)	2/14(火)	2/15(水)~2/22(水) ◆入学金のみ納入	2/27(月)~3/6(月) ◆手続書類提出および 学費等納付金納入
A日程 (全学部統一)	3教科型	2/2(木)			
	得意科目重視型	2/3(金)			
	学部学科特色型	2/4(土)			
B日程(後期)	2/27(月)	1/4(水)~2/20(月)	3/6(月)	3/7(火)~3/10(金)	
V方式[II期] (大学入試センター試験利用入試)	1/14(土) 1/15(日)	1/4(水)~3/4(土)	3/16(木)	3/17(金)~3/22(水)	

【募集人員】

学部	学科	専攻・コース	A日程	B日程	V方式	
					I期	II期
文	日本文		80	25	30	10
	中国文		20	4	4	4
	外国語文化		40	10	14	8
	史		70	23	20	10
	哲		20	7	8	5
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)コース	11	5	4	3
		フレックスB(昼間主)コース	35	10	11	7
法	法律	法律専攻	162	15	22	9
		法律専門職専攻	40	3	3	2
		政治専攻	30	3	3	2
経済	経済		80	10	30	10
	経済ネットワーク		40	10	20	10
	経営		50	10	20	10
人間開発	初等教育		36	6	15	3
	健康体育		46	8	13	4
	子ども支援		36	6	10	3

①：上記一般入学試験以外に推薦入学試験・特別選考入学試験でも学生募集を行っています。

②：合否判定は総合点(値)によりますが、0点の科目がある場合には、他の科目の得点にかかわらず不合格となります。

【A日程の募集人員について】

A日程の募集人員は、3日間(3教科型・得意科目重視型・学部学科特色型)の合算です。

学部	募集割合		
	3教科型	得意科目重視型	学部学科特色型
文	※1/3	※1/3	※1/3
神道文化	35%	35%	30%
法	※1/3	※1/3	※1/3
経済	50%	25%	25%
人間開発	※1/3	※1/3	※1/3

※文・法・人間開発の3学部の割合は目安であり、各入試の志願者数により調整を行う場合があります。

3. 出願資格・出願資格を証明する書類

【出願資格】

1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者、及び平成29年3月卒業見込みの者。
2. 高等専門学校の3年次を修了した者、及び平成29年3月修了見込みの者。
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 ※出願資格の確認が必要となります。出願前に必ず入学課（03-5466-0141）に確認をしてください。出願締切日までに出願資格確認ができなかった場合は、出願を認めないことがあります。また、国により教育制度が異なるため、確認の結果、出願を認めないことがあります。
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の課程を修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
5. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、及び平成29年3月31日までに修了見込みの者。
6. 文部科学大臣が指定した者。
7. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定試験に合格した者を含む）、及び平成29年3月31日までに合格見込みの者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者。
8. 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者。

【出願資格を証明する書類（調査書等）】

出願資格を証明する書類は、原則として平成28年10月1日以降に発行されたものを提出してください。なお、1回で複数出願（併願）する場合は、証明書類（調査書等）は1通で結構です（出願用封筒1枚につき1通提出してください）。ただし、一度出願し、後日出願（追加）する場合には、「証明書類（調査書等）」1通を新たに提出する必要があります。

高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者、及び平成29年3月卒業見込みの者	出身学校長が発行した「 調査書 」 （学校所定用紙、開封無効） ※卒業後年数が経過しており「調査書」の発行が不可能な場合は、「卒業証明書」を提出してください。
高等専門学校第3学年修了者 または平成29年3月修了見込者	出身学校長が発行した「 調査書 」 （学校所定用紙、開封無効）
高等学校卒業程度認定試験の合格者または合格見込者	「 合格証明書 」 （合格見込者は「 合格見込成績証明書 」）
外国における12年の課程を修了した者または修了見込者	「 修了（見込）証明書 」と「 成績証明書 」 ※日本と外国両方の学校に在籍した場合は日本の学校在学中の「 調査書 」もあわせて提出してください。
その他、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた場合	関係する証明書等を提出してください。なお、必要な証明書については 入学課（03-5466-0141） へお問い合わせください。

4. 出願手続

STEP 1 出願情報の登録

本学 HP から「Web 出願」ページにアクセスし、入力指示に従って必要事項の入力・登録を行ってください。

志望情報の入力・確認

志望する入試制度、日程と学科・専攻等を選択してください。入学検定料の合計金額もすぐに確認することができます。

個人情報を入力・確認

氏名や住所などは、正確に入力してください。入力内容を間違えると受験票が届かない場合があります。
【注意】メールアドレスの登録があります。登録したメールアドレスには、登録完了後と入金完了後に確認メールが送信されます。送信元ドメイン (@kokugakuin.ac.jp) の受信を許可してください。

必要書類の確認

出願する入試制度によって必要となる書類が異なります。「必要書類の確認」画面で、ご確認ください。

出願情報登録の完了

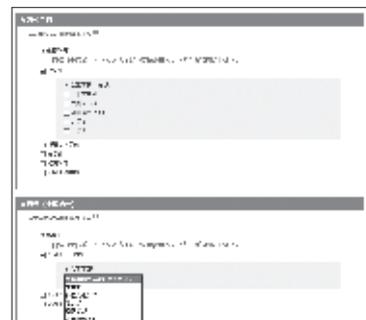
出願番号（受験番号ではありません）が発行されるので、メモするか、画面を印刷してください。この出願番号は、出願内容を修正する際と追加出願する際に必要となります。

また入学検定料の支払いに必要な情報（決済番号）も発行されるので、メモしてください。

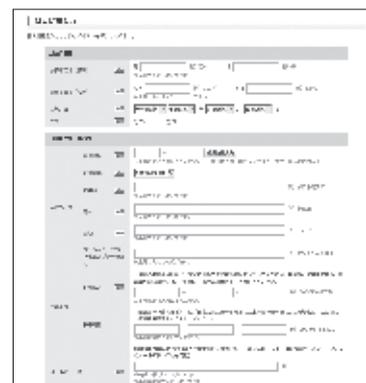
▶登録したメールアドレスに登録完了のメールが送信されます。

Web 志願票・宛名ラベルの印刷

出願情報の登録完了後、登録内容が反映された「Web 志願票」と出願時に封筒に貼りつける「宛名ラベル」を印刷してください。



志望情報入力画面（イメージ）



個人情報入力画面（イメージ）

STEP 2 入学検定料の納付

入学検定料の詳しい納付方法は、Web 出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。

※入学検定料の他に、手数料が必要となります。

A コンビニエンスストア コンビニエンスストアでは 30 万円を超える支払いはできません。

▼支払手順

 セブンイレブン	 ローソン ミニストップ [Loppi]	 ファミリーマート [Fami ポート]	 サークル K・サンクス [K ステーション]	 デイリーヤマザキ スリーエフ	 セイコマート [クラブステーション]
レジにて「インターネット支払い」と伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号(13桁)】を伝え、お支払ください。マルチコピー機は使用しません。	各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 「お客様番号(11桁)」、 「確認番号(5桁)」を入力	代金支払い 各種番号をお持ちの方はこちら 番号入力画面に進む 「お客様番号(11桁)」、 「確認番号(5桁)」を入力	各種支払い 11桁の番号をお持ちの方 オンライン決済番号を入力してお支払い 「オンライン決済番号(11桁)」を入力	レジにて「オンライン決済」と伝える レジのお客様用画面に「決済番号(11桁)」を入力	インターネット受付 【お支払受付番号(11桁)】を入力 お客様電話番号を入力 端末機より「申込券」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジにて代金をお支払いください。
レジにて代金をお支払いください	端末機より「申込券」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジにて代金をお支払いください。			レジにて代金をお支払いください	

※領収書等が発行されるので大切に保管してください。※支払い手順・ボタン名称等は予告なく変更される場合があります。

B ペイジー[金融機関 ATM]

右のペイジーマークが貼ってある金融機関の ATM で利用できます。



▼支払手順

「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択
「収納機関番号(5桁)」「お客様番号(11桁)」「確認番号(5桁)」を入力
支払方法を選択し、入学検定料をお支払いください。

C ネットバンキング

出願登録完了画面の「ネットバンキングでの支払いに進む」をクリックし、画面の指示に従ってお支払いください。

D クレジットカード

お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくとも構いません。

STEP3 必要書類の郵送

必要書類の確認・郵送

必要書類の郵送にあたっては、市販の封筒（角型 2 号サイズ以内）を使用し、表面に「宛名ラベル」を貼ってください。

封筒には必要書類を封入し、下記の送付先に**速達・簡易書留**で郵送してください（出願締切日消印有効）。

1 回の登録で Web 志願票が複数枚となっても、同じ封筒に封入していただいて構いません。

<A・B 日程で必要な書類>

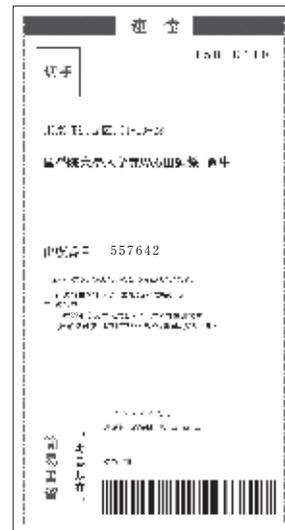
- ①登録内容が反映されている Web 志願票
- ②調査書（出願資格を証明する書類等）1 通
※写真は必要ありません。

<V 方式（大学入試センター試験利用入試）で必要な書類>

- ①登録内容が反映されている Web 志願票
- ②調査書（出願資格を証明する書類等）1 通
- ③平成 29 年度大学入試センター試験成績請求票 1 枚
- ④写真 1 枚
※センター試験の成績請求票と写真は、Web 志願票の所定欄にしっかりと貼り付けてください。



Web 志願票（イメージ）



宛名ラベル（イメージ）

【注意】

調査書（出願資格を証明する書類等）は 1 回の出願で 1 通必要となります。

A 日程と V 方式 I 期を同時出願した場合、Web 志願票は 2 枚となりますが、調査書は 1 通で結構です。

追加出願の場合は、再度、調査書（出願資格を証明する書類等）を郵送する必要があります。

送付先

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學 入学課 Web 出願係

STEP4 受験票の到着

登録された住所に受験票を送付します。受験票の発送開始予定日は、下記の通りです。

届いた受験票を必ず確認し、住所・氏名等記載内容に誤りのある場合はただちに入学課までお問い合わせください。

受験票の取り扱いについては、下記の通りです。

<V 方式 I 期および II 期（大学入試センター試験利用入試）の受験票>

大学入試センター試験当日（1 月 14 日・15 日）に試験場へ持参する必要はありません。

本学 V 方式の合格発表時に受験番号確認用として必要になりますので、大切に保管してください。

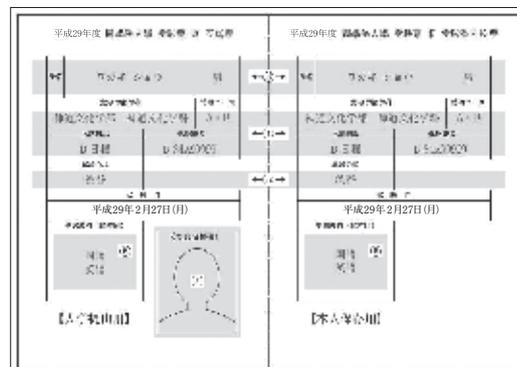
<A・B 日程の受験票>

受験票の所定欄に必ず写真を貼付し、試験日当日に持参してください。

受験票がない場合、試験会場へは入場できません。

受験票発送開始予定日

入試制度	発送開始予定日
V 方式 [I 期]	平成 29 年 1 月 10 日 (火)～
V 方式 [II 期]	平成 29 年 2 月 28 日 (火)～
A 日程	平成 29 年 1 月 17 日 (火)～
B 日程	平成 29 年 2 月 7 日 (火)～



受験票（イメージ）

5. 入学検定料

【入試制度別の入学検定料】

V方式 [I期・II期]

1学科（法学部は1専攻）出願の場合**13,000円**、2学科（専攻）以上を併願する場合の2学科目以降の入学検定料については、**1学科（専攻）につき8,000円**となります。

A日程

1日の試験につき35,000円を原則としますが、同一年度のA日程で複数回出願した場合は、2回目以降の入学検定料は15,000円となります。

B日程

35,000円を原則としますが、同一年度のA日程で1回出願している場合は20,000円、2回以上出願している場合は15,000円となります。

出願回数(学科・専攻)と入学検定料

【V方式 [I期・II期]】

1 学科(専攻)目	2 学科(専攻)目以降 (1学科・専攻につき)
13,000円	13,000円 ⇒8,000円

【A日程】

1 回目	2 回目以降 (1出願につき)
35,000円	35,000円 ⇒15,000円

【学部内併願した場合の入学検定料】

A日程 学部学科特色型（2月4日）において、経済学部3学科（経済・経済ネットワーク・経営）、文学部では外国語文化学科と哲学科の併願をすることができます。

またB日程では、文学部の日本文学科と中国文学科で併願をすることができます。

学部内併願する場合の入学検定料は、いずれも**10,000円**です。

※上記以外で同一試験日に複数学科（専攻）へ併願することはV方式を除いてできません。

※経済学部の併願制度については、単願（1学科のみ）もしくは全3学科への併願のみとしています。

例1) A日程 学部学科特色型で経済学部3学科に併願

出願学科数	金額	(出願学科)
1	35,000円	経済学科
3	45,000円	経済学科・経済ネットワーク学科・経営学科

例2) B日程で文学科の日本文学科と中国文学科に併願

出願学科数	金額	(出願学科)
1	35,000円	日本文学科
2	45,000円	日本文学科・中国文学科

【複数の制度を併願した場合の入学検定料】

本学では、一般入試試験（A日程）とV方式〔I期〕において、複数出願で大幅に検定料が減免される、併願割引制度（本学では応援割）を実施しております。前頁（P9）の入試制度の入学検定料を踏まえ、複数の出願モデルケースを以下の通り、ご紹介します。

応援割の基本的な考え方

- ① V方式〔I期・II期〕は、1学科（専攻）目は13,000円、2学科（専攻）目以降は8,000円追加で出願可能
- ② A日程は、1回目は35,000円、2回目以降は15,000円を追加で出願可能
- ③ V方式〔I期〕とA日程を同時出願した場合、V方式〔I期〕10,000円+A日程25,000円で出願可能
- ④ A・B日程での複数学科への併願は、10,000円を追加で出願可能（文学部の一部と経済学部）

モデルケース1 センター試験利用を中心に受験を検討

$$\text{V方式 I期} + \text{V方式 I期} + \text{V方式 I期} = \text{~~39,000円~~ 29,000円}$$

モデルケース2 センター試験利用に加え、一般入試でも受験を検討

$$\text{V方式 I期} + \text{A日程 (2/2・3・4のいずれか1日)} = \text{~~48,000円~~ 35,000円}$$

モデルケース3 一般入試を中心に、センター試験利用での受験も検討

$$\text{A日程 (3教科型2/2)} + \text{A日程 (得意科目重視型2/3)} + \text{V方式 I期} = \text{~~83,000円~~ 50,000円}$$

モデルケース4 一般入試を中心に受験を検討（後期のB日程も受験）

$$\text{A日程 (得意科目重視型2/3)} + \text{A日程 (学部学科特色型2/4)} + \text{B日程} = \text{~~105,000円~~ 65,000円}$$

モデルケース5 後期のセンター試験利用での受験を検討

$$\text{V方式 II期} + \text{V方式 II期} + \text{V方式 II期} = \text{~~39,000円~~ 29,000円}$$

※注意事項

- ・上記はモデルケースであり、この他にも出願パターンは複数あります。
- ・V方式〔I期〕とA日程の併願割引は同時出願に限ります。

6. 【1】V方式 [I期] (大学入試センター試験利用入試)

スケジュール

出願期間	平成29年1月4日(水)～1月13日(金) 消印有効	
試験日	平成29年1月14日(土)・1月15日(日) ※平成29年度「大学入試センター試験受験案内」をご参照ください。	
合格発表日	平成29年2月14日(火)	
入学手続期間 【送付期間】	第1次	平成29年2月15日(水)～2月22日(水) 消印有効 ※入学金のみ納入
	第2次(最終)	平成29年2月27日(月)～3月6日(月) 消印有効 ※入学手続書類提出及び学費等納付金納入

※注意事項

- ①本学での個別試験は行いません。
- ②合否判定に使用する成績は、平成29年度大学入試センター試験の結果のみです。
- ③複数の学科(専攻)の併願が可能です。

教科・科目等

学部	学科	科目数 満点	教科	科目	配点	備考		
文	日本文 中国文	3科目 800点	国語	「国語」	400	200点満点を2倍換算		
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)		
			以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。					
			地理歴史・ 公民、数学 から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」から1科目	200	100点満点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		
	外国語文化 哲	3科目 500点	国語	「国語」(近代以降の文章)	200	100点満点を2倍換算		
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)		
			以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。					
			地理歴史・ 公民、数学 から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」から1科目	100	※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		
	史	3科目 600点	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目 ※第1解答科目	200	100点満点を2倍換算 ※第1解答科目の成績を合否判定に利用		
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)		
			以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。					
			国語、 公民、数学 から1教科	「国語」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」から1科目	200	「国語」以外は100点満点を2倍換算		
神道文化	3科目 600点	国語	「国語」	200				
		外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)			
		以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。						
		地理歴史・ 公民、数学 から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」から1科目	200	100点満点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可			

学部	学科(専攻)	満点	教科	科目	配点	備考	
法	法律 (法律 法律専門職 政治)	3科目 800点	全科目のうち最高得点の科目を2倍(400点)換算。				
			国語	「国語」(近代以降の文章)		200	100点満点を2倍換算
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目		200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)
			地理歴史・公民、数学から1教科	以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		200	100点満点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可
経済	経済経営	3科目 800点	全科目のうち最高得点の科目を2倍(400点)換算。				
			国語	「国語」(近代以降の文章)		200	100点満点を2倍換算
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目		200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)
			地理歴史・公民、数学から1教科	以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目		200	100点満点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可
経済	経済ネットワークワーキング	2科目 600点	以下の5教科19科目のうち「地理歴史・公民」の1科目以上を含む2科目を合否判定に利用(「地理歴史・公民」からの2科目利用も可)。 3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用。ただし、合否判定に利用する科目が「地理歴史・公民」からの2科目の場合は、第1解答科目の得点を400点満점에換算。				
			地理歴史・公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ◆ ※第1解答科目		400	「地理歴史・公民」「国語」(近代以降の文章)「数学」は100点満点を2倍換算 「地理歴史・公民」は第1解答科目の得点をさらに2倍し400点満점에換算 「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)
			国語、外国語、地理歴史・公民、数学から1教科	「国語」(近代以降の文章) 「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目		200	
			「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 (◆と同一名称を含まない科目)				
「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目							
人間開発	初等教育健康体育子ども支援	3科目 600点 (注)	国語	「国語」		200	「英語」は250点満点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 「外国語」以外は100点満点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」および「理科」②は第1解答科目の成績のみ利用可
			以下の教科から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用。				
			外国語、地理歴史・公民、数学、理科から2教科	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目		各200	
			①・②のいずれかを選択 ①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目(50点×2) ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 ※第1解答科目				

(注) 理科①を選択した場合は、4科目となる。

6. 【2】V方式 [Ⅱ期] (大学入試センター試験利用入試)

スケジュール

出願期間	平成29年1月4日(水)～3月4日(土) 消印有効	合格発表日	平成29年3月16日(木)
試験日	平成29年1月14日(土)・1月15日(日) ※平成29年度「大学入試センター試験受験案内」を参照してください。	入学手続期間 【送付期間】	平成29年3月17日(金)～3月22日(水) 消印有効 ※入学手続書類提出及び学費等納付金納入

※注意事項

- ① 本学での個別試験は行いません。
- ② 合否判定に使用する成績は、平成29年度大学入試センター試験の結果のみです。
- ③ 複数の学科(専攻)の併願が可能です。
- ④ 法学部・経済学部の3教科型・2教科型も併願が可能です。

教科・科目等

学部	学科	科目数 満点	教科	科目	配点	備考		
文	日本文	2科目 400点	国語	「国語」	200			
			以下の教科から最高得点の1科目を合否判定に利用。					
			外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)		
			地理歴史、公民、数学から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目	200	100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		
	中国文	1科目 200点	国語	「国語」	200			
	外国語文化	2科目 400点	外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)		
			以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。					
			国語、地理歴史、公民、数学から1教科	「国語」(近代以降の文章) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目	200	100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		
	史	2科目 400点	以下の教科から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用(「国語」「外国語」のうち1科目以上を含む)。					
			国語、外国語、地理歴史、公民、数学から2教科	「国語」 「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目	各200	「外国語」「国語」のうち1科目以上を含む高得点の2教科2科目を利用 「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 「地理歴史」「公民」「数学」は100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		
	哲	2科目 400点	国語	「国語」(近代以降の文章)	200	100点を2倍換算		
			以下の教科から最高得点の科目を合否判定に利用。					
外国語			「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)			
			地理歴史、公民、数学から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目	200	100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可		

学部	学科・専攻・方式	科目数満点	教科	科目	配点	備考		
神道文化	神道文化	2科目 600点	国語、外国語、地理歴史、公民、数学から2教科	以下の教科から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用。		各200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 「国語」「地理歴史」「公民」「数学」は100点を2倍換算 さらに最高点を2倍(400点)換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可。 「地理歴史・公民」から2教科2科目を利用する場合に限り第2解答科目も利用可	
				「国語」(近代以降の文章)	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目(※第1解答科目) 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目(※第1解答科目) 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目			
				「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目				
				「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目(※第1解答科目)				
法	法律 (法律専門職政治)	3教科型	3科目 800点	全科目のうち最高点を2倍(400点)換算。		各200	100点を2倍換算 「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可	
				国語	「国語」(近代以降の文章)			
				外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目			
				地理歴史、公民、数学から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目			
					「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目			
	政治	2教科型	2科目 400点	3教科以上の受験が必要。「外国語」「国語」のうち1科目以上を含む高得点の2教科2科目を利用		各200	100点を2倍換算 「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可	
				国語	「国語」(近代以降の文章)			
				外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目			
				地理歴史、公民、数学から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目			
					「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目			
経済	経済 経済ネットワーク 経営	3教科型	3科目 600点	国語	「国語」(近代以降の文章)	200	100点を2倍換算	
				外国語	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目	200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入)	
				以下の教科から2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に利用。		200	100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可	
				地理歴史、公民、数学から1教科	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目			
					「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目			
	経営	2教科型	2科目 400点	以下の教科から3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用。		各200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 「外国語」以外は100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」は第1解答科目の成績のみ利用可。 「地理歴史・公民」から2教科2科目を利用する場合に限り第2解答科目も利用可	
				国語、外国語、地理歴史、公民、数学から2教科	「国語」(近代以降の文章)			「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目(※第1解答科目) 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目(※第1解答科目) 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目
					「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目			
					「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目(※第1解答科目)			
					「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目(※第1解答科目)			
人間開発	初等教育 健康体育 子ども支援	(注) 2科目 400点	国語	「国語」(近代以降の文章)	200	100点を2倍換算		
			以下の教科から最高得点の科目を合否判定に利用。		各200	「英語」は250点を0.8倍換算(小数点以下四捨五入) 「外国語」以外は100点を2倍換算 ※「地理歴史・公民」「理科②」は第1解答科目の成績のみ利用可 理科①は各科目50点、2科目(100点)を2倍換算		
			外国語、地理歴史・公民、数学、理科から1教科	「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目				
				「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目 ※第1解答科目				
				「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目				
①・②のいずれかを選択 ①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 ②「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 ※第1解答科目								

(注) 理科①を利用する場合は3科目。

6. 【3】A日程（全学部統一）

《学部内併願について》

学部学科特色型（2月4日(土)）において文学部は外国語文化学科と哲学科、経済学部は3学科の併願が可能です。

スケジュール

《A日程 共通スケジュール》

出願期間	平成29年1月4日(水)～1月20日(金) 消印有効			合格発表日	平成29年2月14日(火)
試験日 試験会場	試験会場	試験日	2/2(木)・2/3(金)	2/4(土)	入学手続 期間 【送付期間】 【第1次】 ※入学金のみ納入 平成29年2月15日(水)～2月22日(水) 消印有効 【第2次(最終)】 ※入学手続書類提出及び学費等納付 金納入 平成29年2月27日(月)～3月6日(月) 消印有効
	本学会場	渋谷キャンパス	文学部 (日本文・外国語文化学科) 神道文化学部 法学部・経済学部	全学部	
		横浜たまプラーザ キャンパス	文学部 (中国文・史・哲学科) 人間開発学部		
地方会場	札幌・仙台・新潟・ 長野・静岡・名古屋・ 大阪・広島・福岡	全学部	全学部		

※注意事項

- ①試験会場（P.20～22参照）は、変更になる場合がありますので、必ず受験票でご確認ください。
- ②A日程の試験会場は、本学会場の他に札幌・仙台・新潟・長野・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡の地方会場があります。
地方会場での受験希望者は、出願時に必ず試験会場の登録をしてください。

試験時間・教科・科目等

※A日程の試験の解答方式は、すべてマークセンス方式です。

【3教科型】平成29年2月2日(木) 10時集合

※得点は偏差値に換算

3科目の偏差値の合計により合否を判定します。

学部	学科・専攻	1時限目		2時限目		3時限目		
		10:30～11:30(60分)		12:40～13:40(60分)		14:30～15:30(60分)		
		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		
文	日本文	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文40点、古文40 点、漢文20点)	
	中国文							
	史							
	外国語文化							
神道文化	神道文化							
法	法律	法律	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文(必須)70点、 現代文・古文・漢文(択 一)30点)
		法律専門職						
		政治						
経済	経済							
	経済ネットワーク							
	経営							
人間開発	初等教育							
	健康体育							
	子ども支援							

【得意科目重視型】平成29年2月3日(金) 10時集合

3科目中最高値の1科目を2倍に換算し、他の2科目と合わせた合計により可否を判定します。

※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻	1時限目		2時限目		3時限目		
		10:30~11:30(60分)		12:40~13:40(60分)		14:30~15:30(60分)		
		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		
文	日本文	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文40点、古文40 点、漢文20点)	
	中国文							
	史							
	外国語文化							
	哲							
神道文化	神道文化							
法	法律	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文(必須)70点、 現代文・古文・漢文(択 一)30点)	
								法律
								法律専門職 政治
経済	経済							
	経済ネットワーク							
	経営							
人間開発	初等教育							
	健康体育							
	子ども支援							

選抜方法

【学部学科特色型】平成29年2月4日(土) 10時集合

学部・学科により判定科目数・配点比率が異なります。

※得点は偏差値に換算

学部	学科・専攻	1時限目		2時限目		3時限目		
		10:30~11:30(60分)		12:40~13:40(60分)		14:30~15:30(60分)		
		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		
文	日本文	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文40点、古文40 点、漢文20点)	
	中国文							
	史							
	外国語文化							
	哲							
神道文化	神道文化							
法	法律	外国語 (※100点)	コミュニケーション 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱ	選択科目 (※100点)	日本史B、世界史B、 政治・経済、数学Ⅰ・ 数学Aより択一 (試験当日に選択)	国語 (※100点)	国語総合 (現代文(必須)70点、 現代文・古文・漢文(択 一)30点)	
								法律
								法律専門職 政治
経済	経済							
	経済ネットワーク							
	経営							
人間開発	初等教育							
	健康体育							
	子ども支援							

■学部学科特色型の判定科目数・判定方法

学部	学科・専攻	判定科目数	2倍換算の科目	判定方法	
文	日本文	3	国語	3科目の合計で判定	
	中国文	3	選択科目・国語		
	外国語文化	3	外国語		
	史	3	選択科目		
	哲	3	国語		
神道文化	神道文化	※2	—	必須の国語および外国語・選択科目の 上位1科目との2科目で判定	
法	法律	※2	—	上位2科目で判定	
					法律
					法律専門職 政治
経済	経済	3	成績上位2科目	3科目の合計で判定	
	経済ネットワーク				
	経営				
人間開発	初等教育	3	—	3科目の合計で判定	
	健康体育				
	子ども支援				

※ 受験は3科目必要

6. 【4】B日程（後期）

《学部内併願について》

B日程において文学部の日本文学科と中国文学科は併願が可能です。

スケジュール

出願期間	平成29年1月4日(水)～2月20日(月) 消印有効		合格発表日	平成29年 3月 6日(月)
試験日	平成29年 2月27日(月)			入学手続 期間 【送付期間】 平成29年 3月 7日(火)～ 3月10日(金) 消印有効
試験会場	本学会場 のみ	渋谷キャンパス	全学部	

※注意事項

試験会場は、変更になる場合がありますので、必ず受験票でご確認ください。

試験時間・教科・科目等

※B日程の試験の解答方式は、**地理歴史・数学は記述式、その他の科目はすべてマークセンス方式**です。
※得点（素点）の合計で合否判定

学科によって試験の方法や配点が異なりますので、該当部分を熟読したうえで、出願してください。

学部	学科	専攻	科目数 満点	1時限目		2時限目		3時限目	
				10：30～11：30(60分)		12：40～13：40(60分)		14：30～15：30(60分)	
				教科・科目・配点等		教科・科目・配点等		教科・科目・配点等	
文	日本文 中国文		2科目 200点			国語 (現代文) (100点)	国語総合(現代文)、 現代文B	国語(古典) (※100点)	国語総合(古文、漢文)、 古典B
	外国語文化		2科目 300点	外国語 (200点)	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現I・II	国語 (現代文) (100点)	国語総合(現代文)、 現代文B		
	史		2科目 250点	【事前登録】 外国語 (100点)	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現I・II	地理歴史 (150点)	「日本史B」、「世界史 B」、 「地理B」から択一(試 験当日に選択)	【事前登録】 国語(古典) (※100点)	国語総合(古文、漢文)、 古典B
	哲		2科目 200点	外国語 (100点)	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現I・II	国語 (現代文) (100点)	国語総合(現代文)、 現代文B		
神道 文化	神道文化		2科目 300点	外国語 (100点)	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現I・II	国語 (現代文) (200点)	国語総合(現代文)、 現代文B		
法	法律	法律 法律専門職 政治	2科目 200点	【事前登録】 外国語 (100点)		国語 (現代文) (100点)		【事前登録】 数学 (100点)	数学I・数学A
経済	経済	経済 経済ネットワーキング 経営	2科目 200点	【事前登録】 外国語 (100点)	コミュニケーション英語 I・II・III、 英語表現I・II	【事前登録】 国語 (現代文) (100点)	国語総合(現代文)、 現代文B	【事前登録】 数学 (100点)	数学I・数学A
人間 開発	初等教育 健康体育 子ども支援		3科目 300点	外国語 (100点)		国語 (現代文) (100点)		【事前登録】 数学または 国語(古典) (※100点)	数学 数学I・数学A 国語(古典) 国語総合(古文・漢文)、 古典B

※国語（古典）は古文60点、漢文40点。

受験教科の事前登録について（史学科及び法・経済・人間開発学部対象）

史学科及び法学部・経済学部・人間開発学部は受験教科の事前登録が必要です。

学部(学科)	事前登録教科数(下記の教科より選択)	
文(史)	1教科	1時限目 「外国語」 3時限目 「国語(古典)」
法	1教科	1時限目 「外国語」 3時限目 「数学」
経済	2教科	1時限目 「外国語」 2時限目 「国語(現代文)」 3時限目 「数学」
人間開発	1教科	3時限目 「数学」「国語(古典)」

受験教科は、出願時の申請に基づいて登録しますので、出願後及び試験当日の変更は一切認められません。

外部英語検定試験の利用について

B日程では、文学部外国語文化学科と経済学部経済ネットワーク学科において、本学の外国語試験に加えて外部英語検定試験のスコアを利用することができます。スコアを提出したうえで本学の外国語の試験を受験した場合は高い方の得点を合否判定に利用します。

英語検定試験	本学での換算			
	外国語文化学科(200点満点)		経済ネットワーク学科(100点満点)	
	200点に換算	160点に換算	100点に換算	80点に換算
TEAP(LRSW) (400点満点)	334点以上	226～333点	334点以上	226～333点
TOEIC®L&R (990点満点)	785点以上	550～784点	785点以上	550～784点
GTEC CBT (1400点満点)	1250点以上	1000～1249点	1250点以上	1000～1249点

※スコアは平成26年4月1日以降受験のものに限ります。

※TEAPは異なる試験日のスコアは合算できません。

◆成績表の提出について

外部英語検定試験のスコアを希望する場合は、出願時に所定の成績表（原本）を提出してください。

英語検定試験	大学受験に必要な成績表（原本）
TEAP(LRSW)	TEAP成績表
TOEIC®(L&R)	公式認定証（Official Score Certificate）
GTEC CBT	スコアレポート（Score Report）

集合時刻について

B日程では、事前登録した受験教科および外部英語検定試験のスコアの利用有無により、集合時間が変わります。ご注意ください。

1時限目からの受験者は10：00集合、2時限目からの受験者は12：10集合です。

外国語文化学科・経済ネットワーク学科で外部英語検定試験のスコアの利用の有無等により集合時刻が異なります（最初に受験する試験の開始30分前です）。

学科	受験教科	外部英語検定試験	
		利用する	利用しない
外国語文化	外国語・国語	12：10※	10：00
経済ネットワーク	外国語・国語	12：10※	10：00
	外国語・数学	14：00※	10：00
	国語・数学		12：10

※本学の外国語の試験を受験する場合は10：00集合。

7. 受験上の注意 (A・B日程)

開 場 時 刻

午前 9 時 30 分

試験教室には、掲示で該当の試験教室を確認のうえ、**午前10時**までに入室し、自分の受験番号の席に着席してください。

※B日程は学科・事前登録教科により集合・開始時刻が異なります (P.18参照)。

受 験 票

所定欄に**顔写真を貼付のうえ、試験当日必ず持参**し、試験会場入口で提示してください。

遅 刻

試験開始後45分までの入場を認めます。事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。

なお、試験会場周辺の公共交通機関 (バス・タクシーは除く) に大幅な乱れ・遅れが生じ、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合には、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。

また、このことに伴う受験者の個人的損害について、本学は一切責任を負いませんのでご了承ください。

退 室

- ① 試験教室からの退室は、試験監督者の指示に従ってください。
- ② 入場後は試験が終了するまで試験場の外に出ることはできません。

試験時間中の 注意事項

- ① 試験時間中は監督の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。
- ② 試験時間中に机の上に置けるものは、「受験票」「写真票」のほかに、「黒鉛筆 (HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可)」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」「時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ③ 「**定規** (定規の機能を備えた鉛筆等を含む)」「**コンパス**」「**電卓**」「**そろばん**」「**グラフ用紙**」等の補助具や、「**電子辞書**」「**携帯電話**」「**スマートフォン**」「**腕時計型端末**」「**ICレコーダー**」等の**電子機器類は使用できません**。試験時間中に、これらを使用すると**不正行為**となります。
- ④ アラームや時報機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ず**アラームや時報の設定を解除**してください。
- ⑤ 携帯電話等の通信機器は、試験教室に入る前に必ず**アラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください**。
- ⑥ 「**座布団**」「**ティッシュペーパー**」「**ハンカチ**」「**マスク**」「**目薬**」の使用を希望する場合は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。
- ⑦ 「**耳せん**」は、**監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません**。
- ⑧ 試験時間中の発病または用便等やむを得ない場合には、手を挙げてその旨を申し出て監督者の指示に従ってください。なお、一時退室が認められた場合でも、**試験教室以外での受験はできません**。また、試験時間の延長も認められません。

不正行為

以下のことをすると不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した試験も無効となります。

- ① カンニング (カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど) をすること。
- ② 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ③ 試験監督者の指示に従わず、問題冊子を開いて解答を始めたり、解答を続けること。
- ④ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者に利益を与えるような行為をすること。
- ⑤ その他、試験の公正性・公平性を損なう行為をすること。

感染症に関する 注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている**感染症 (インフルエンザ・麻疹・風疹等) に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。**

また、**試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分に注意してください。**

ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた際には、この限りではありません。

なお、**上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。**

そ の 他

- ① **昼食は各自で用意**をしてください。本学会場 (渋谷・横浜たまプラーザ) では軽飲食の販売を予定しております。
- ② 上履きを持参する必要はありません。
- ③ 試験会場へは**公共の交通機関**をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。
- ④ 試験中は、原則として**受験者以外は試験会場に入ることはできません**。
- ⑤ 本学では学生の健康に配慮し、「**卒煙活動**」に力を入れており、試験中は試験会場の内外すべて禁煙です。

不測の事態への 対応について

大規模自然災害等の不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。

なお、このことに伴う受験者の個人的損害について、本学は責任を負いませんのでご了承ください。

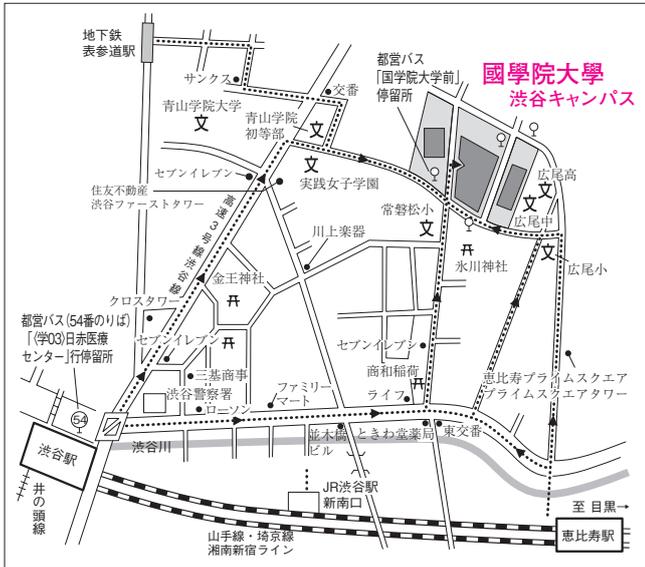
これらの対応措置を講ずる場合は、本学ホームページ (www.kokugakuin.ac.jp/admission/) に掲載しますので、確認してください。

8. 試験会場所在地・案内図

試験会場は、入試制度・学部学科によって異なりますので必ず受験票で確認してください。

渋谷キャンパス試験会場

國學院大學 渋谷キャンパス



<所在地> 〒150-8440
東京都渋谷区東四丁目10-28

<交通機関> 渋谷駅東口方面出口から徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル（54番のりば）より
都営バス<学03系統>「日赤医療センター前」
行き（運賃180円 ※IC175円）「国学院大学前」
下車

横浜たまプラーザキャンパス試験会場

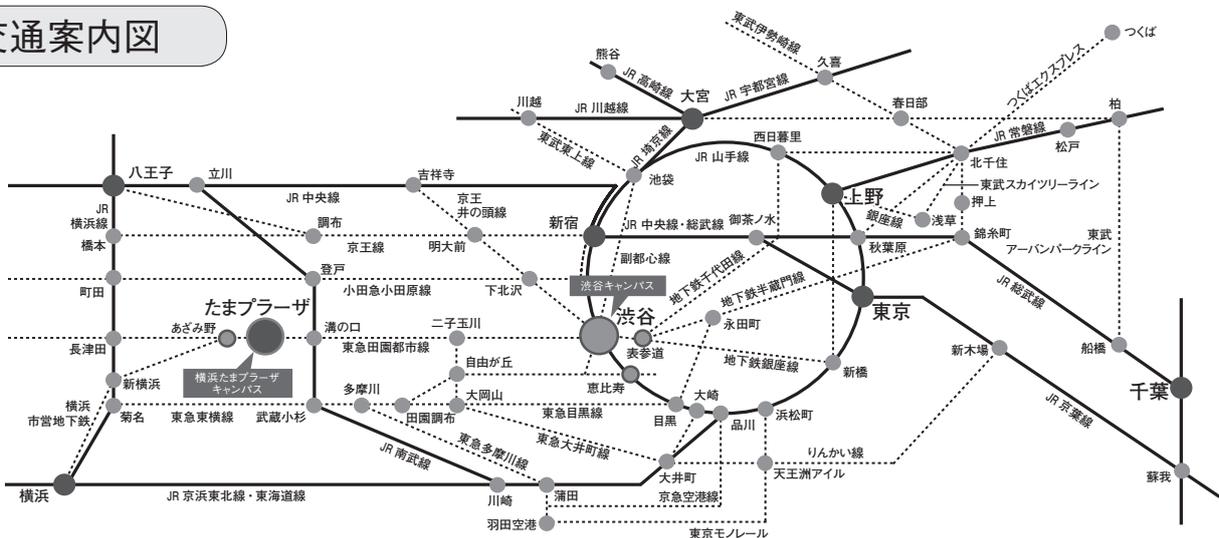
國學院大學 横浜たまプラーザキャンパス



<所在地> 〒225-0003
神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

<交通機関> 渋谷駅より東急田園都市線（長津田・中央
林間方面行き）にて約25分
（東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ）
たまプラーザ駅下車、南口より徒歩約5分

交通案内図



地方会場

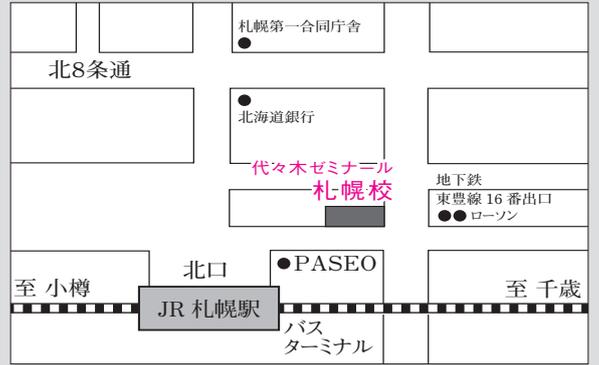
☆地方会場での入学試験実施は、A日程の3日間（2/2・3・4）のみです。

札幌 試験会場 代々木ゼミナール札幌校

<所在地> 〒060-0807
北海道札幌市北区北7条西2-5

<交通機関> JR札幌駅北口、地下鉄（東豊線）さっぽろ駅16番出口より徒歩1分、地下鉄（南北線）さっぽろ駅北改札口より徒歩5分

<TEL> 0120-09-4305

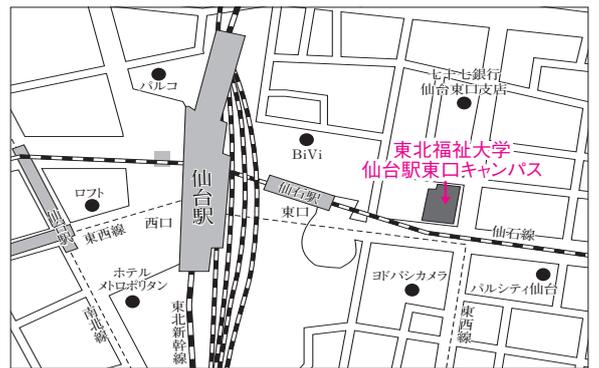


仙台 試験会場 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

<所在地> 〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26

<交通機関> JR仙台駅東口より徒歩3分

<TEL> 022-766-8833



新潟 試験会場 代々木ゼミナール新潟校

<所在地> 〒950-0901
新潟県新潟市中央区弁天1-4-18

<交通機関> JR新潟駅万代口より徒歩2分

<TEL> 0120-85-4305



大阪 試験会場 代々木ゼミナール大阪南校

<所在地> 〒556-0016
大阪府大阪市浪速区元町1-2-3

<交通機関> 地下鉄御堂筋線・千日前線・四つ橋線・南海「なんば」駅、近鉄・阪神「大阪難波」駅、JR「JR難波」駅より徒歩1~5分

<TEL> 0120-58-4305



長野 試験会場 長野バスターミナル会館

<所在地> 〒380-8568
長野県長野市中御所岡田178-2

<交通機関> JR長野駅善光寺口より徒歩8分

<TEL> 026-228-1156



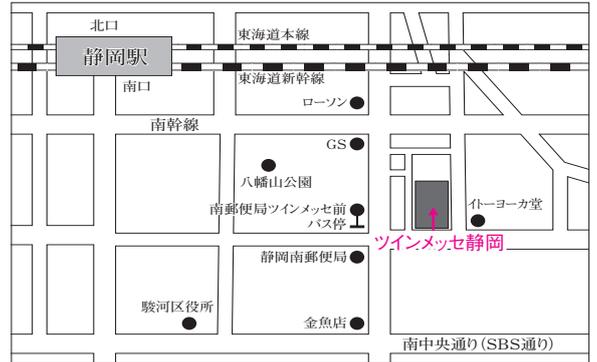
受験 試験会場

● 静岡 試験会場 ツインメッセ静岡

<所在地> 〒422-8006
静岡県静岡市駿河区曲金3-1-10

<交通機関> JR静岡駅北口より静岡鉄道バス
「南郵便局ツインメッセ前」下車

<TEL> 054-285-3111

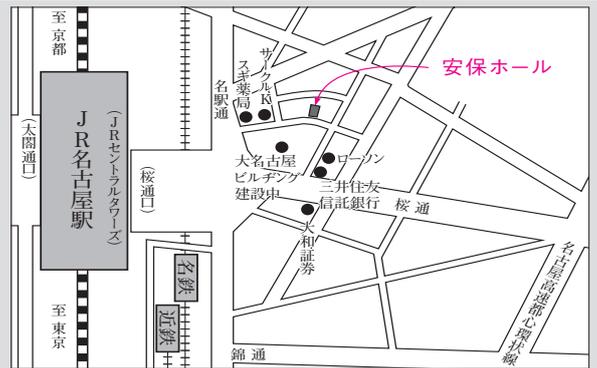


● 名古屋 試験会場【2月2日】 安保ホール

<所在地> 〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅3-15-9

<交通機関> JR名古屋駅桜通口より徒歩2分

<TEL> 052-561-9831

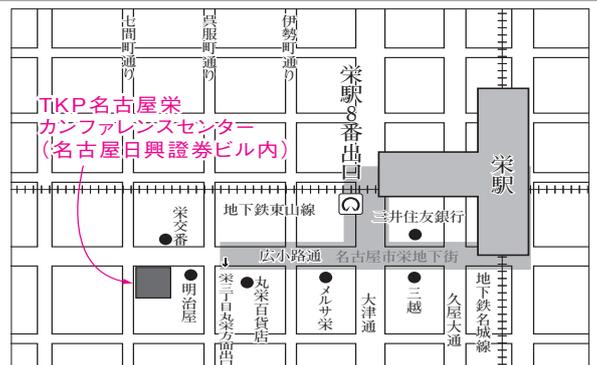


● 名古屋 試験会場【2月3・4日】 TKP名古屋栄カンファレンスセンター

<所在地> 〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄3-2-3
名古屋日興証券ビル7階
TKP名古屋栄カンファレンスセンター

<交通機関> 地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩5分

<TEL> 052-955-6136



● 広島 試験会場 TKP広島平和大通りカンファレンスセンター

<所在地> 〒730-0041
広島県広島市中区小町3-19
MG広島小町ビル3階
TKP広島大通りカンファレンスセンター

<交通機関> 広島電鉄「中電前」駅より徒歩2分

<TEL> 082-909-2608



● 福岡 試験会場 電気ビル共創館

<所在地> 〒810-0004
福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82

<交通機関> 西鉄「薬院」駅より徒歩7分

<TEL> 0120-222-084



9. 合格発表

発表方法

合格発表は、送付のみで実施します（補助的な手段として、本学ホームページにて合格者の受験番号を公開します）。

合格者……登録された住所に合格通知書を送付します。なお、地域によって到着までに日数がかかる場合もありますのでご了承ください（大学では交付・掲示は行いません）。

不合格者……A・B日程は登録された住所に不合格通知書を送付します。ただし、欠席者・途中放棄者には、送付しません。また、不合格者には、通知書にて本人の得点（または偏差値）結果をお知らせします。

V方式は不合格者に対する通知の送付は行いません。

インターネットによる合格発表

正式な発表は、本人宛に送付する通知によるものとしませんが、補助的な手段として本学ホームページにて合格者の受験番号を公開します。発表日の13:00より公開をする予定です。

合格発表時の受験番号（入試コード）変更について

対象：神道文化学部の「1. どちらも希望する」または「2. フレックスA（夜間主）コース」選択者
出願時のコース選択で「1. どちらも希望する」または「2. フレックスA（夜間主）コース」を選択し、「フレックスA（夜間主）コース」で合格となった場合に限り、受験時の（受験票に印字された）受験番号（入試コード部分）と、合格発表時の受験番号（入試コード部分）が異なりますのでご注意ください。なお、受験番号の変更部分は下表の通りです（2桁目以外は全て受験時・合格発表時ともに変更はありません）。

（例）

学部	学科	入試制度	受験時	合格発表時
神道文化	神道文化	V方式 [I期]	V 7 4 A 99999	→ V 8 4 A 99999
		A日程 3教科型	A 3 4 A 99999	→ A 4 4 A 99999

その他

- ① 配達区域によって到着日が異なります。
- ② 電話などによる合格の問い合わせには一切応じません。
- ③ 配達時の不在及び配達事情による遅配を理由とした入学手続の延期は一切認めません。

繰上合格の取り扱いについて

繰上合格候補

繰上合格候補者は合格者ではなく、入学手続に欠員が生じた場合にのみ、合格者として認められる資格を有する者です。繰上合格候補者には、大学から送付する選考結果通知書（不合格通知書）の中にその旨を記載します。

繰上合格発表

正規合格者の入学手続状況に応じて、繰上合格候補者に対する合格発表を行います。繰上合格者には、登録された住所に繰上合格通知書を郵送します。

繰上合格発表期間（予定）

平成29年2月24日（金）～3月21日（火）

※3月21日（火）時点において、郵送で繰上合格通知書を発送した繰上合格候補者以外にも合格を認める場合には、その旨を同日の16時以降、大学から本人へ直接電話連絡をし、入学の意思確認を行います。

※入学手続の状況によっては、平成29年2月24日（金）以前または3月21日（火）以降に連絡することもあります。

その他

- ① 繰上合格の有無に関しての問い合わせには一切応じかねます。
- ② 繰上合格の連絡があり、かつ入学の意思がある場合、大学が指定した日時までに入学手続を完了させなければなりません。なお、入学手続の延期は一切認めません。
- ③ 電話連絡時に応答がなかった場合、繰上合格にはなりません。

10. 入学手続

入学の意思がある方は、以下に従い所定の手続を完了させてください。詳細は、A日程・V方式〔I期〕の合格者については『合格通知書（裏面）』、B日程・V方式〔II期〕の合格者については『入学手続要項』及び『入学手続方法』に記載します。

V方式〔I期・II期〕は、大学入試センターから交付された「平成29年度大学入試センター試験受験票」を入学手続書類として大学へ提出する必要があります。

入学手続期間

A日程・ V方式〔I期〕合格者	第1次(入学金納入)	平成29年2月15日(水)～2月22日(水) ※送付受付のみ(締切日消印有効)
	第2次(最終)	平成29年2月27日(月)～3月6日(月) ※送付受付のみ(締切日消印有効)
B日程合格者		平成29年3月7日(火)～3月10日(金) ※送付受付のみ(締切日消印有効)
V方式〔II期〕合格者		平成29年3月17日(金)～3月22日(水) ※送付受付のみ(締切日消印有効)

入学手続方法

入学手続期間・方法は入学試験制度によって異なります。該当する期間外での入学手続は一切認められませんので、ご注意ください。

A日程・V方式〔I期〕 合格発表時に『合格通知書』を送付し、**第1次入学手続の案内**をします。その後、第1次入学手続完了者に対し、『**第2次(最終)入学手続書類**』を送付します。

第1次入学手続期間 國學院大學へ入学する意思のある方は、第1次入学手続期間内に以下の手続を行ってください。

- ①銀行窓口で『**入学金**』(260,000円)を納付
- ②**振込連絡票**(大学提出用：A票)を大学へ送付(第1次入学手続締切日消印有効)

①入学金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から**本学が指定する銀行口座**に納付してください(銀行等のATM・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。

②**入学金を納付しても、振込連絡票(大学提出用：A票)を大学に提出しない場合は、第1次入学手続を完了したことになりません。**

★**期日までに第1次入学手続が完了しない者には、第2次入学手続書類は交付しません。**

★**いかなる理由があっても入学手続を延期することはできません。**

★一度納付された入学金は、最終的に入学手続をとらない場合でも返還できません。

第1次入学手続完了者 第1次入学手続完了者には、『**第2次(最終)入学手続書類**』を交付します。第1次入学手続締切日以降に送付(2月25日(土)頃発送)する予定です。

第2次(最終)入学手続期間 國學院大學へ入学する意思のある方は、第2次(最終)入学手続期間内に以下の手続を行ってください。

- ①銀行窓口で『**学費等納付金**』を納付
- ②『**入学手続書類**』を大学へ送付(第2次(最終)入学手続締切日消印有効)

①学費等納付金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から**本学が指定する銀行口座**に納付してください(銀行等のATM・ネットバンク・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。納付方法には、『**第2次全納**』と『**第2次分納**』があります。いずれかを選び、納入してください。

②**学費等納付金を納付しても、「入学手続書類」を提出しない場合は、第2次(最終)入学手続を完了したことになりません。**

★**期日までに第2次(最終)入学手続が完了しない者には、入学を許可しません。**

★詳細は、第1次入学手続完了者に交付する『第2次(最終)入学手続書類』を確認してください。

★**いかなる理由があっても入学手続を延期することはできません。**

第2次(最終)入学手続完了者 入学手続完了者には、3月下旬に『**新入生案内**』を送付します。

B日程・V方式[Ⅱ期]	合格発表時に「 入学書類 」を送付します。
入学書類期間	<p>國學院大學へ入学する意思のある方は、入学書類期間内に以下の手続きを行ってください。</p> <p>①銀行窓口で「学費等納付金」を納付 ②「入学書類」を大学へ送付(入学書類締切日消印有効)</p> <p>①学費等納付金を、最寄りの銀行または信用金庫の窓口から本学が指定する銀行口座に納付してください(銀行等のATM・ネットバンク・ゆうちょ銀行・コンビニエンスストアは利用できません)。納付方法には、「全納」と「分納」があります。いずれかを選び、納付してください。 ②学費等納付金を納付しても、「入学書類」を提出しない場合は、入学手続きを完了したことになりません。 ★期日までに入学手続きが完了しない者には、入学を許可しません。 ★詳細は、合格者に送付する「入学書類」を確認してください。 ★いかなる理由があっても入学手続きを延期することはできません。 ★一度納付された入学金は、最終的に入学手続きをとらない場合でも返還できません。</p>
入学手続き完了者	<p>【B日程】 入学手続き完了者には、3月下旬に「新入生案内」を送付します。</p> <p>【V方式[Ⅱ期]】 「新入生案内」は合格通知書に同封します。</p>

入学辞退について

入学手続き完了後、やむを得ない事由により入学を辞退する場合、**平成29年3月31日(金) 17時**までに所定の申請手続きを終えた方には、**入学金を除く授業料等納付金を返還**いたします。なお、詳細は「**入学手続き方法**」に記載します。

11. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について(平成29年度学費等納付金額)

(単位：円)

学 部 別		文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部			
費 目	納 期	全 納(年額)	分 納		
			入学時	9月	
学 費	入 学 金	260,000	260,000		
	授 業 料	700,000	350,000	350,000	
	施設設備費	201,000	100,500	100,500	
	維持運営費	10,000	10,000		
	小 計	1,171,000	720,500	450,500	
諸 費	若木育成会費	29,000	29,000		
	若木学友会入会金	1,000	1,000		
	若木学友会費	5,300	5,300		
	院友会(同窓会)入会金	10,000	10,000		
	文学部・神道文化学部：國學院雑誌代	2,000	2,000		
	法学部：國學院法学代	3,000	3,000		
	経済学部：経済学会費	2,000	2,000		
	人間開発学部：國學院人間開発学会費	3,000	3,000		
	小 計	文 学 部	47,300	47,300	
		神 道 文 化 学 部	47,300	47,300	
法 学 部		48,300	48,300		
経 済 学 部		47,300	47,300		
人 間 開 発 学 部		48,300	48,300		
合 計	文 学 部	1,218,300	767,800	450,500	
	神 道 文 化 学 部		1,218,300		
	法 学 部	1,219,300	768,800	450,500	
	人 間 開 発 学 部		1,219,300		

- 備考
1. 教員免許等各種資格の取得を希望する場合は、上記以外に別途費用が必要となります。
 2. 上表のうち、國學院雑誌代(文学部・神道文化学部)については消費税分を含んだ金額となっています。
 3. 文学部中国文学科入学者は、中国学会費2,000円が諸費に加算されます。
 4. 分納した場合は、夏休み中(8月上旬)に後期分の振込用紙を保証人(ご父母)宛に送付します。
 5. 2年次以降の学費等納付については、毎年4月に振込用紙を保証人(ご父母)宛に送付します。

(2) フレックスコースの学費等納付金について(神道文化学部)

フレックス開講制のいずれのコースに入学しても学費等納付金は同額です。ただし、フレックスA(夜間主)コースの在籍生を対象に、月～金曜日の5～7時限及び土曜日1～7時限の科目のみで授業を履修し、本学の定める出願資格を満たした学生に、「後期分授業料及び後期分施設設備費相当額」を給付する制度「フレックス特別給付奨学金」を設けています。**有資格者は入学後所定の期間に出願手続きをしてください。**詳細は学生生活課(03-5466-0146)にお問い合わせください。

※この奨学金を希望する場合には、**出願時に必ず「フレックスA(夜間主)コース」を選択してください。**

入試 Q&A

出願について

Q メールアドレスの登録は携帯電話のアドレスでも可能ですか？

A 構いません。なお、登録するメールアドレスは、携帯電話等必ず連絡がつくものにしてください。また出願登録完了の通知や入金完了の通知に使用しますのでドメイン (@kokugakuin.ac.jp) の受信を許可してください。

Q 出願登録後に入力内容の誤りに気づき、変更したいのですが、変更できますか？

A 入学検定料の納付前であれば、登録内容の変更が可能です。入学検定料納付後の登録内容の変更は一切できません。

Q 出願登録した後で、出願内容を確認することはできますか？

A 出願登録後、出願番号（6桁）が発行されます。『出願内容を確認する（ログイン）』ボタンより、その出願番号と氏名、生年月日、電話番号を入力・ログインすると、自分が登録した内容を確認できます。

Q 追加出願をすることはできますか？

A Web出願ページの【2回目以降の出願】ボタンから追加出願することができます。複数回受験による入学検定料割引および1回目に入力した個人情報等の入力項目を反映することができます。

提出書類について

Q 調査書は何通必要ですか？

A 1回の出願で1通必要です。追加出願する場合も、再度同封してください。

Q 写真は何枚必要ですか？

A V方式（大学入試センター試験利用入試）に出願する場合は、Web志願票に貼付する必要があります。A・B日程に出願する場合は、出願時に写真を貼付する必要はありません。出願後に大学から届く受験票に貼付し、試験当日に持参してください。

受験票について

Q 受験票が届きません。

A 各入試日程の発送開始日より順次送付しておりますが、確認作業の都合により受験票の発送に若干日数がかかる場合もあります。万一、試験の3日前になっても到着しない場合は、入学課（03-5466-0141）までご連絡ください。

Q 受験票の記載内容が間違っているのですが。

A 登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、速やかに入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。



もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

國學院大學入学課

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL : 03-5466-0141

<http://www.kokugakuin.ac.jp>